



Broadmedia

2018年度第2四半期 決算概況

ブロードメディア株式会社

2018年11月1日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

釣りビジョン社の架空取引被害の対応

2018年度第2四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

2018年1月

架空取引被害の発覚

**被害額
対応費用**

**543百万円
約200百万円**

2018年1～6月

社内調査委員会／第三者委員会による調査

- ⇒ 委託先の映像制作会社が行った詐欺
- ⇒ 内部に加担した者が存在する事実は、確認されなかった

2018年7月

すべての決算訂正および前期決算が完了

2018年8月

東証へ「改善報告書」を提出

- ⇒ 現在、再発防止に向けた改善措置を実行し、全社的なガバナンスとコンプライアンス体制を強化している
- ⇒ 2019年2月に、東証へ改善状況について報告予定

刑事手続き

⇒ 刑事告訴に必要な資料を提出し、
警察・検察にて捜査中

民事手続き (損害賠償請求等による回収)

⇒ 裁判および個別交渉により、対応中

消費税・ 法人所得税 の更正手続き

⇒ 2012年度の「更正請求」が認められ、
還付手続きが完了

(第2四半期決算にて、当該還付額約10百万円を計上)

⇒ 2013年度～2016年度の「更正請求」
手続きも準備中

⇒ 更正請求が全て認められた場合、還付総額
は約4億円、連結決算の最終損益は、
約2億円の改善を見込む



釣りビジョン社の架空取引被害の対応

2018年度第2四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

第2四半期累計期間(4月～9月)の連結経営成績



(単位:百万円)

	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	増減率
売上高	5,159	5,509	↑ 350	7%
営業損益	△ 2	△ 97	↓ △ 95	-
経常損益	△ 15	△ 83	↓ △ 68	-
純損益	0	△ 165	↓ △ 166	-

(百万円未満切捨て)

概況

- 売上高は、前年同期と比べて、7%増収
- 釣りビジョン社の架空取引被害に関連する費用が、第2四半期(4月～9月)に約150百万円発生したこと等により、営業損失・経常損失・純損失を計上

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	↑ 91	△ 37	△ 40	→ △ 2
放 送	1,492	1,451	↓ △ 40	58	75	↑ 17
ス タ ジ オ	1,178	1,127	↓ △ 50	12	△ 15	↓ △ 28
技 術	1,108	1,265	↑ 156	188	212	↑ 24
ネットワーク営業	359	552	↑ 192	△ 11	22	↑ 34
全 社 費 用				△ 211	△ 352	↓ △ 140
合 計	5,159	5,509	↑ 350	△ 2	△ 97	↓ △ 95

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	↑ 91	△ 37	△ 40	→ △ 2
放 送	1,492	1,451	↓ △ 40	58	75	↑ 17
クラウドゲーム事業						
デジタルメディアサービス						
教育サービス						
新規コース・新キャンパス等						
費用の発生						
減益						
クラウドゲーム事業およびデジタルメディアサービス						
いずれも売上高が伸び、営業損失が縮小						

- ✓ セグメント全体では、売上高は増加し、営業利益は同水準
- ✓ 教育サービスは、入学生の増加により増収、新規コース・新キャンパス等に係る費用の発生により減益
- ✓ クラウドゲーム事業およびデジタルメディアサービスは、いずれも売上高が伸び、営業損失が縮小

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2
放 送	1,492	1,451	△ 40	58	75	17
ス タ ジ	1,178	1,127	△ 50	12	△ 15	△ 28

- ✓ 視聴料収入が減少傾向にあるものの、固定費等の削減効果により減収増益
- ✓ 架空取引被害を教訓として、ガバナンス体制の強化と収益性向上を目的とした組織改革を進める

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2
放 送	1,492	1,451	△ 40	58	75	17
ス タ ジ オ	1,178	1,127	△ 50	12	△ 15	△ 28
技 術	1,108	1,265	156	188	212	24
その他						
合 計						

- ✓ 番組販売事業は、テレビ局向け番組販売が好調に推移
- ✓ 制作事業では、受注が減少し原価率が上昇、映画配給事業では、ビデオ販売等が減少
- ✓ その結果、セグメント全体では、売上高が減少し、赤字を計上

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2
放 送	1,492	1,451	△ 40	58	75	17
ス タ ジ オ	1,178	1,127	△ 50	12	△ 15	△ 28
技 術	1,108	1,265	156	188	212	24
ネットワーク営業	552	552	192	△ 11	22	34
						△ 140
						△ 95

✓ 新たなソリューションやサービスが拡大したことや、デジタルシネマサービスが好調に推移し、増収増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2
放 送	1,492	1,451	△ 40	58	75	17
ス タ ジ オ	1,178	1,127	△ 50	12	△ 15	△ 28
技 術	1,108	1,265	156	188	212	24
ネットワーク営業	359	552	192	△ 11	22	34

✓ ブロードバンド回線の販売が好調に推移し、増収増益(黒字化)

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2
放 送	1,492	1,451	△ 40	58	75	17
ス タ ジ オ	1,178	1,127	△ 50	12	△ 15	△ 28
技 術	1,108	1,265	156	188	212	24
ネットワーク営業	359	552	192	△ 11	22	34
全 社 費 用				△ 211	△ 352	△ 140

✓ 釣りビジョンの架空取引被害に係る一時的な費用
(約150百万円)が発生

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2017年度	2018年度 第2四半期	増減額	増減率
総 資 産	6,535	6,595	60	1%
負 債	3,859	4,065	206	5%
純 資 産	2,675	2,529	△ 146	△5%
自 己 資 本	2,187	2,014	△ 172	△8%
非支配株主持分	487	514	26	6%
自己資本比率	33%	31%	—	—

(百万円未満切捨て)

総 資 産

- 番組勘定や前払費用が増加した一方、現預金が減少

負 債

- 前受金やリース債務が減少した一方で、買掛金や普通社債(250百万円)が増加

純 資 産

- 純損失の計上により、純資産は減少

キャッシュフローの状況

	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期
営業キャッシュフロー	△ 421	△ 278
投資キャッシュフロー	△ 125	△ 43
財務キャッシュフロー	△ 58	42
現金及び現金同等物の増減	△ 601	△ 278
現金及び現金同等物の期末残高	1,702	1,337

(単位：百万円) (百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

営業キャッシュフロー

- 純損失の計上やテレビ向け番組仕入、BS放送に係る衛星利用料の前払い等により、マイナス278百万円

投資キャッシュフロー

- 固定資産の取得や敷金の差入等により、マイナス43百万円

財務キャッシュフロー

- リース債務返済があった一方で、普通社債の発行により、プラス42百万円

■ 通期の連結業績予想

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2018年度 第2四半期	通期 業績予想 (5月30日発表)	進捗率
売上高	5,509	11,700	47%
営業利益	△ 97	50	—
経常利益	△ 83	40	—
純利益	△ 165	△ 80	—

- ✓ 第2四半期まで、売上高・損益ともに概ね想定通りに進捗
- ✓ 税金の還付額・時期は未定のため、通期の業績予想については、据え置く

■ 配当について

- ✓ 中間配当につきましては、期初予想のとおり、見送らせていただきました
- ✓ 期末配当につきましても、期初予想を据え置き、無配とさせていただく予定です

釣りビジョン社の架空取引被害の対応

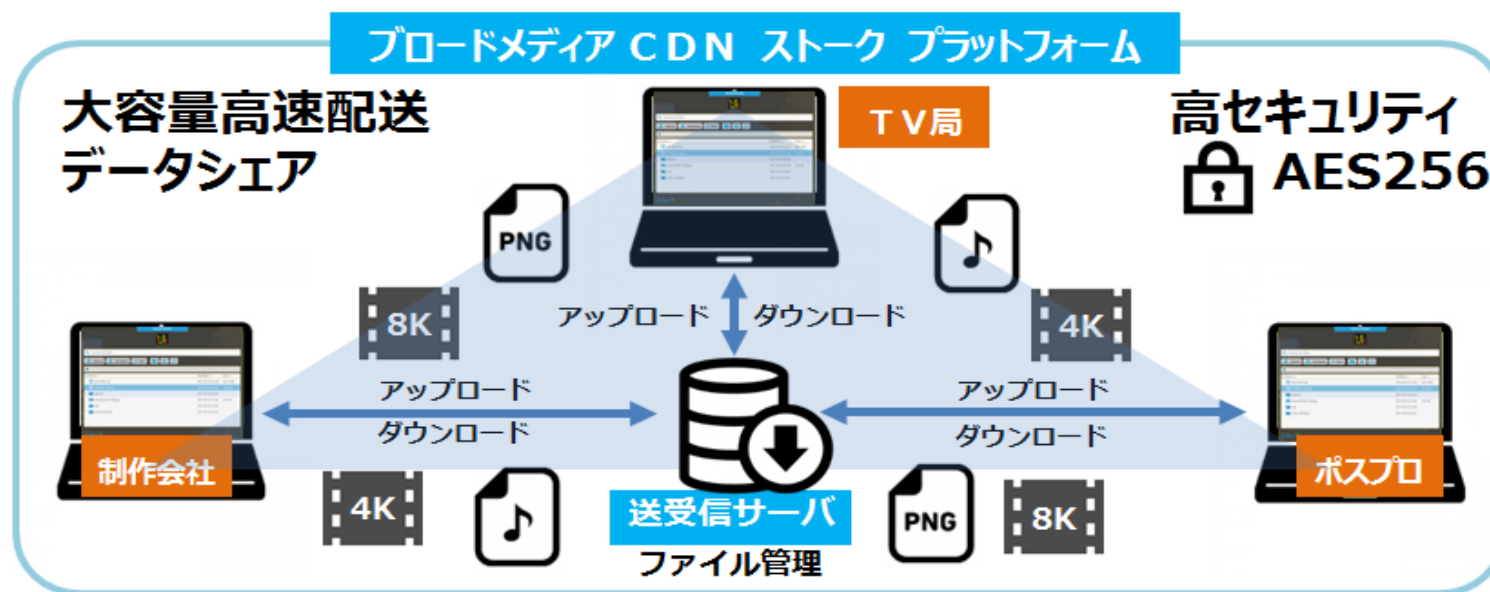
2018年度第2四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

2018年10月 制作会社、ポスト・プロダクション、放送局など向け 大容量ファイルの高速配送システム 「ブロードメディア®CDN ストック」の提供を開始



- ✓ 日本テレビ放送網株式会社に採用
- ✓ 次世代の国際標準映像規格と期待される、「IMF規格」にも対応

■ ネットワーク営業の構造改革

- ✓ 現状の傘下代理店統括ビジネスは伸び悩み
- ✓ 今後の成長を目指し、新たなビジネスモデルを模索



- ✓ 通信商材のテレマーケティング事業を開始する

⇒テレマーケティング事業を行っている（株）トライバルユニットとのジョイントベンチャーを設立し、双方のノウハウを活かす

ブロードメディア・コミュニケーションズ（株）を10月に設立

来期からの収益化を目指す



2018年9月 ルネサンス大阪高等学校「eスポーツコース」の教材として 株式会社カプコンの対戦型 格闘ゲーム 『ストリートファイターV アーケードエディション』のライセンスを取得



幻の日本酒造りと恋を巡る、感動の物語が誕生

川栄李奈 初主演映画『恋のしずく』

～2018年10月20日(土)丸の内 TOEI ほか全国順次公開～

一生、忘れられないもの、を見つけました。



©2018「恋のしずく」製作委員会

■ 投資先の株式会社ポケットにおいて



Nintendo Switch™用パッケージソフトのリリース決定！

2018年11月29日発売予定
『Overcooked^(R) 2
パッケージ版』

※発売元: Team17 販売元: ポケット



Overcooked 2. Developed by Team17 Digital Ltd and Ghost Town Games Ltd
© 2018. Published by Team17 Digital Ltd. Team17 is a trademark of Team17 Digital Limited. All other trademarks, copyrights and logos are property of their respective owners.

2018年12月20日発売予定
『加藤一二三 九段監修
ひふみんの将棋道場』



©2018 Pocket

- ✓ **全社的なガバナンスの強化とコンプライアンス体制の強化により、当社グループの持続的な成長の実現と企業価値の向上に努める**
- ✓ **各セグメントにおいて、新たな挑戦とさらなる収益機会の創出による収益拡大を目指す**

ご清聴ありがとうございました



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します



釣りビジョン社の架空取引被害の対応

2018年度第2四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

事業セグメント別の連結業績 ～コンテンツ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,020	1,112	91	△ 37	△ 40	△ 2

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- セグメント全体では、売上高は増加し、営業利益は同水準
- 教育サービスは、入学生徒数の増加により増収、新規コースや新キャンパスに係る費用の発生により減益
- クラウドゲーム事業およびデジタルメディアサービスは、いずれも売上高が伸び、営業損失が縮小

◆クラウドゲームサービス

- ・クラウドゲーム「Gクラスタ」
- ・スマホ向けクラウドゲームアプリ
- ・通信事業者向けプラットフォーム

◆デジタルメディアサービス

- ・「クランクイン！ビデオ」
- ・「クランクイン！コミック」
- ・「クランクイン！」

◆教育サービス

- ・ルネサンス高等学校
- ・ルネサンス豊田高等学校
- ・ルネサンス大阪高等学校

事業セグメント別の連結業績 ～放送～



		売 上 高		
		2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
放	送	1,492	1,451	△ 40

		営 業 利 益		
		2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
		58	75	17

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 視聴料収入が減少傾向にあるものの、固定費等の削減効果により減収増益
- 架空取引被害を教訓として、ガバナンス体制の強化と収益性向上を目的とした組織改革を進める

◆釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

- ・衛星基幹放送事業(BS放送)
- ・ケーブルテレビ局等への「釣りビジョン」の提供
- ・その他

事業セグメント別の連結業績 ～スタジオ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
ス タ ジ オ	1,178	1,127	↓ △ 50	12	△ 15	↓ △ 28

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 番組販売事業は、テレビ局向け番組販売が好調に推移
- 制作事業では、受注が減少し原価率が上昇、
映画配給事業では、ビデオ販売等が減少
- その結果、セグメント全体では、売上高が減少し、赤字を計上

◆制作事業

- ・日本語字幕制作
- ・日本語吹替制作
- ・文字放送字幕制作
- ・番組宣伝制作

◆映画配給事業

- ・劇場映画の製作・配給
- ・DVD / Blu-rayの発売
- ・TV放映権の販売
- ・VOD権の販売

◆番組販売事業

- ・ハリウッド映画等のテレビ局への供給

事業セグメント別の連結業績 ～技術～



		売 上 高	
		2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期
技 術		1,108	1,265
		増減額 156	

		営 業 利 益	
		2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期
		188	212
		増減額 24	

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 新たなソリューションやサービスが拡大したことや、デジタルシネマサービスが好調に推移し、増収増益

◆CDNサービス

- ・ブロードメディア®CDN Entry
- ・ブロードメディア®CDN mobile
- ・ブロードメディア®CDN mobile movie
- ・ブロードメディア®CDN CMオンライン
- ・ブロードメディア・テクノロジーズ社のCDNサービス等

◆ホスピタリティ・ネットワーク

- ・ホテルの客室、会議室等へのインターネットサービスの提供

◆デジタルシネマサービス

- ・ブロードメディア®CDN for theater
- ・配信機器等の販売及びレンタル
- ・VPFサービスの提供

事業セグメント別の連結業績 ～ネットワーク営業～



	売 上 高		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
ネットワーク営業	359	552	192

	営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
	△ 12	22	34

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- ブロードバンド回線の販売が好調に推移し、増収増益(黒字化)

◆ブロードバンド回線販売

◆ISPサービス販売

◆その他

事業セグメント別の連結業績 ～全社費用～



	営 業 利 益		
	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減額
全 社 費 用	△ 211	△ 352	△ 140

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 釣りビジョンの架空取引被害に係る一時的な費用(約150百万円)が発生

◆グループ本社(ブロードメディア)の管理部門に係る費用・損益

無担保社債(銀行保証付私募債)を発行

銘 柄	ブロードメディア株式会社第1回無担保社債 (株式会社りそな銀行保証付および適格機関投資家限定)
引受銀行	株式会社りそな銀行
発行総額	250百万円
発行日	2018年9月25日
利率	固定金利 0.49%
最終償還期日	2023年9月25日 ※半年ごとに25百万円償還
資金使途	事業資金

本調達により、財務基盤の安定化と事業基盤の強化

2018年10月26日 ルネサンス高等学校グループが スリムビューティハウス アカデミーと提携



スリムビューティハウス アカデミー
キレイを学び、キレイになる。そしてキレイを仕事にする。



エステティシャンに憧れる生徒たちが、
高校卒業時に美のプロとして多彩なステージでの活躍を目指す

- ① 取引先との関係性構築の徹底
- ② 与信管理・リスク管理の徹底
- ③ 釣りビジョンにおける組織の見直し及び管理部門と
営業部門の切り離し
- ④ グループにおける規程・マニュアルの整備
- ⑤ 各子会社取締役会及び当社重要会議での報告事項の
見直し

- ⑥ コンプライアンス教育の徹底
- ⑦ 稟議プロセスへの親会社の関与
- ⑧ 釣りビジョンと当社の管理部門連携強化
- ⑨ 釣りビジョンを含むグループ内部監査の強化

同様の被害の再発防止にとどまらず

グループガバナンス・コンプライアンス体制の強化に努める

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

<http://www.broadmedia.co.jp/>



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しの上に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します